



私の病歴

石橋 もと子

昭和6年1月23日生れの83歳6ヶ月の媪（おうな）です。今、私が患っているのは、糖尿病です。何か悪いことをしているかのように、隣の部屋でこっそりと…、朝な夕なにインシュリンを打っています。血糖値を毎回計り、自己管理ノートに記す。次はマイクロファインプラス注射針をつけて、腹中に刺す。所々青地になっている。

遠く振り返れば、50歳代後半頃のある日、急に甘いものが食べたくなり、丁度佐賀の羊羹が有り、包丁で端から1センチずつ切り、とうとう1本を食し、あと、水分を一杯呑んだ経験が有ります。後、糖尿で最初の入院した頃に、糖尿の友は大体同じで、羊羹1本を丸々口で食したと皆で笑い話をしたことが有るのを思い出します。何回も入院して勉強しても、行うは難く、その都度3大合併症を痛い程覚えさせられたことを思い出します。

でも実行は非常に難しく、炭水化物はどれとどれ、自分自身の一日のカロリー値、食すごとに考えて食しなければいけない。けれど「言うのは易し、行うは難し」で出来ないことが多く、年令が出てつい自我が出る…。どうせ一生は、目前に来ていると…。

教育入院のたびに、諸先生方に非常にお世話になったことは忘れません。現在もお世話になって居ます。先生にとって私は劣等生で、心で苦笑されていると思います。

私がこれまで生きて来て、手術したのを記します。

左鼠径部（そけいぶ）ヘルニア 24歳「妊娠5か月」

子宮筋腫手術 32歳

胆石摘出術 50歳「35センチ傷」「生命の危険が有り」

変形性膝関節手術 両膝「人工関節」 68歳

